

平成28年度事業報告書

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日

社会福祉法人 有田つくし福祉会

1 法人の概要

主たる事務所所在地 ……和歌山県有田郡湯浅町大字栖原187番地の1

電 話 番 号 ……0737-64-1866

代 表 者 氏 名 ……理事長 西林久子

法人認可年月日 ……平成12年7月14日

法人認可番号 ……441

設立登記年月日 ……平成12年7月21日

2 法人の行う事業

事業の種類 ……第2種社会福祉事業

拠点区分「つくし」

名 称 ……つくし共同作業所

事業種別 ……生活介護・就労継続支援B型（多機能型）

管理者名 ……野下康雄

定員／日均利用者数 ……40人／43.9人

職員数／支援職員常勤換算 ……21人／12.1人（年度末時点：併設分を含む）

就労支援事業指導員数 ……6人（年度末時点）

備 考 ……利用契約者数：55人（年度末時点）

本体及び出張所各1箇所

名 称 ……つくしんぼショート

事業種別 ……障害者・児童日中一時支援（市町村所管：つくし共同作業所に併設）

拠点区分「早月」

名 称 ……早月農園

事業種別 ……就労継続支援B型

管理者名 ……西林則男

定員／日均利用者数 ……20人／15.8人

職員数／支援職員常勤換算 ……12人／4.4人（年度末時点）

就労支援事業指導員数 ……2人（年度末時点）

備 考 ……利用契約者数：22人（年度末時点）

拠点区分「あつぷる」

名 称 ……あつぷるホーム

事業種別 ……共同生活援助、短期入所（共同生活援助に併設）
 管理者名 ……西林則男
 定員／日均入居者数 ……12人／10.4人
 短期入所定員／日均利用者数 ……4人／0.8人（延べ296人）
 職員数／支援職員常勤換算 ……12人／夜勤分を除き5.3人（年度末時点：併設分を含む）
 備考 ……入居契約者数：12人（年度末時点）
 共同生活住居（ホーム）2箇所

拠点区分「センター」

名称 ……有田地域生活支援センターつくし
 事業種別 ……一般・特定・障害児相談支援、市町村相談支援事業（受託）
 管理者名 ……長尾正子
 職員数 ……3人（公益事業を含む）
 名称 ……有田圏域基幹相談支援センターあねっと
 事業種別 ……基幹相談支援センター等機能強化事業（受託）
 職員数 ……1人
 備考 ……和歌山県福祉事業団と共同受託 事業所は同事業団内

事業の種類 ……公益事業

拠点区分「センター」

名称 ……有田地域生活支援センターつくし
 事業種別 ……在宅リハビリテーション推進強化事業（受託）
 備考 ……本事業は第2種社会福祉事業の有田地域生活支援センターつくしと一体的に運営し、会計も同一拠点区分として処理している。

3 定款変更の状況

- ・社会福祉法改正に伴う全面改定
- ・平成28年12月13日理事会及び同日評議員会にて決議（平成29年1月5日和歌山県認可）

4 役員等の状況（評議員の任期は平成29年3月31日まで）

役職	氏名	就任年月日	現職	備考
理事長・評議員	西林久子	平成28年7月22日	当法人職員	元つくし共同作業所運営委員長
理事・評議員	長尾正子	平成28年7月22日	当法人施設長	支援センターつくしセンター長 保護者
理事・評議員	馬谷哲雄	平成28年7月22日	会社役員	元つくし共同作業所事務局長
理事・評議員	鬼松光夫	平成28年7月22日	無職	元後援会長 元つくし共同作業所施設長
理事・評議員	刑部悦代	平成28年7月22日	看護師	元つくし共同作業所運営委員長
理事・評議員	西林則男	平成28年7月22日	当法人施設長	早月農園施設長
理事・評議員	野下康雄	平成28年7月22日	当法人施設長	つくし共同作業所施設長
監事	岡八重子	平成28年7月22日	税理士	会計事務所経営

監 事	玉置春樹	平成28年7月22日	無 職	保護者
評議員	家本欣明	平成28年7月22日	会社役員	後援会役員
評議員	境 久	平成28年7月22日	無 職	元保護者
評議員	竹中信義	平成28年7月22日	農 業	後援会長
評議員	栩野さえ子	平成28年7月22日	無 職	後援会役員
評議員	中井 勤	平成28年7月22日	自 営	地域住民代表
評議員	中西久光江	平成28年7月22日	会社役員	元後援会役員
評議員	藤原さよみ	平成28年7月22日	農 業	保護者会長
評議員	松原悦子	平成28年7月22日	無 職	保護者

5 理事会開催状況

第1回 平成28年5月30日 出席（理事5人・監事1人）

議事内容

- 1 平成27年度事業報告・決算について……………原案通り承認

第2回 平成28年7月7日 出席（理事5人・監事1人）

議事内容

- 1 任期満了に伴う法人役員・評議員の改選について……………原案通り承認
- 2 「オリーブ」の拡張について……………原案通り承認

第3回 平成28年7月22日 出席（理事7人）

議事内容

- 1 理事長の選任について……………原案通り承認

第4回 平成28年12月13日 出席（理事5人・監事1人）

議事内容

- 1 任期満了に伴う苦情解決第三者委員の選任について……………原案通り承認
- 2 平成28年度第1次補正予算について……………原案通り承認
- 3 定款の変更について……………原案通り承認
- 4 諸規程の改定について……………原案通り承認
- 5 評議員選任・解任委員会の運営細則の制定について……………原案通り承認
- 6 評議員選任・解任委員会委員の選任について……………原案通り承認
- 7 その他……………原案通り承認

第5回 平成29年3月24日 出席（理事6人・監事1人）

議事内容

- 1 平成28年度第2次補正予算について……………原案通り承認
- 2 平成29年度事業計画・予算について……………原案通り承認

- 3 諸規程の改定について ……………原案通り承認
- 4 評議員選任・解任委員会への新評議員候補の推薦について ……………原案通り承認

6 主務官庁による監査等実施状況

主務官庁	監査等実施日	対象
和歌山県有田振興局	平成28年11月22日	有田地域生活支援センターつくし（一般相談支援）

7 許可・認可・および承認に関する事項

なし

8 法人運営に関する特記事項

なし

9 運営の状況

法人運営

1、理事会・評議員会

前年度事業報告・決算、役員・評議員改選、理事長選任、就労継続支援新事業開設準備、苦情解決第三者委員改選、予算補正、定款改定、諸規程改定、評議員選任・解任委員会設置、次年度事業計画・予算などの案件について、理事会を5回、評議員会を4回開催した。

2、事業の整備状況

引き続き、「つくし共同作業所（出張所を含む）」・「つくしんぼショート」（就労支援・生活の支援、日中一時支援）、「早月農園」（就労支援・生活の支援）、「あっぷるホーム」（地域生活の支援、短期入所）、「有田地域生活支援センターつくし」（相談支援、在宅支援等）を行った。新事業として「有田圏域基幹相談支援センターあねっと」（基幹相談支援センター機能強化事業）を和歌山県福祉事業団と共同で受託し開設した（事業所は福祉事業団内）

3、職員の資質・専門性の向上

年間研修計画をもとに、研修の重要性、職員間の必要性・公平性などを考慮しながら職員研修を実施した。本年度はサービス管理責任者研修が1分野に1名、相談支援初任者研修が1名完了し、他に現任研修に参加した。

法人内全職員対象の内部研修を2回実施（内部実践発表、外部講師）した。

昨年度に引き続きヤマト福祉財団による「夢の架け橋実践塾」（農業）に参加した。

そのほか研修を行った分野として、外部研修（複数法人での合同自主研修を含む）では障害福祉施策全般、利用者支援全般（強度行動障害等）、虐待防止、人権擁護、生産活動関連（製パン、農業等）、食品衛生、社会福祉法人簿記など、また有志一同で他法人事業所見学を行った。

4、対外活動など

地域団体から引継ぎ「チャレンジハイキング」を、後援会・保護者会と協同して「つくしバザー」を開催した。その他定例的な地域交流行事として、早月農園で「喫茶はやつき」（毎月）、つくし共同作業所出張所（オリーブ）で「オリーブ秋まつり」（10月）を開催した。

また地域団体主催の「ふれあい夏まつり」に参加したほか、地元文化祭への出展や地域行事への参加・販売などを行った。

年間を通し後援会・保護者会及び地域の多数のボランティアから、訪問販売や地域行事での物品販売、農作業指導・補助、さをり織り商品化、物品寄付、ほか多くの協力をいただいた。

インターネットホームページ及び紙面の「つくしだより」において法人・事業の理念や活動を発信、ほか運営・財務等については制度の改定もあり従来より詳細に情報公開を行った。

各事業

1、拠点区分「つくし」

「つくし共同作業所（含出張所）」（生活介護・就労継続支援B型）

「つくしんぼショート」（併設：日中一時支援）

①事業・定員

- ・生活介護（定員8）・就労継続支援B型（定員32）を多機能型として、及び併設事業として日中一時支援（つくしんぼショート：地域生活支援事業）を行った。

②支援内容

生活介護

- ・日常生活支援：毎日の体調チェック、服薬・食事・整容・排泄等の支援、支援プログラムによる定期的な活動（散歩・体操・腹筋運動・創作的活動・買い物・公共施設利用・ドライブ・足浴・音楽療法など）
- ・生産活動：生活介護班として主として企業・農家からの下請け作業
- ・年間延べ利用者数は2,382人（1日あたり9.1人 利用率113.8%）

就労継続支援B型

- ・生産活動による適性に応じた労働訓練：
 本体班→パン訪問販売・配達、煎餅製造・販売、家庭用品の下請け、米袋再製品化、さをり織り、廃品リサイクル等
 出張所班→「カフェ&ベーカリー・オリーブ」におけるパン製造・店頭販売・喫茶・訪販・納品等
- ・出張所利用者の出勤体制についての改定は持ち越しとなった。
- ・一般就労に向けた支援：施設外の実習及び一般就労につながった事例は無かった。
- ・年間延べ利用者数は9,083人（1日あたり34.8人 利用率108.8%）

事業間共通

- ・全利用者が給食サービスを利用した。必要な利用者にはアレルギー対応食・刻み食を提供した。
- ・外部医療機関による健康診断を1回行った。生活介護以外の利用者も体調把握のため毎月血圧・身体測定を行った。また希望者のみインフルエンザ予防接種を実施した。
- ・有田歯科医師会の御好意による虫歯予防学習会を行った。
- ・避難訓練について、本体においては消防立会と自主訓練を1回ずつ、出張所においては消防立

会訓練を1回（2回目は事情により年度をまたぎ4月実施予定）行った。

- ・法人内事業所全体で「つくし運動会」、保護者会と共同で白浜へのバス旅行を行った。自主行事として「オリーブ秋まつり」や忘年会を行ったほか、地域団体等主催の行事に参加した。
- ・合計の年間延べ利用者数は11,465人（前年度△218人）、1日あたり利用者数は43.9人となった。
- ・送迎サービスの延べ利用回数は13,308回（片道1回の計算）となり、半数以上の利用者が送迎を利用した。

日中一時支援

- ・有田地方自治体（有田市、有田川町、湯浅町、広川町）と契約を継続した。
- ・つくし共同作業所の併設事業として支援日・支援内容は同作業所に準じ、必要に応じ別途対応とする体制で臨んだ。
- ・従来から、支援学校の長期休暇中や福祉サービスの繋ぎといった形態で利用されていたが、本年度の利用実績は無かった。

③生産活動全般（生活介護・就労継続支援B型計）

<事業収入>

収入額合計 38,760,950円（前年度から約6.8%減）

パン店頭販売・卸売 …………… 31,630,557円（前年度から約8.5%減）

パン訪問販売 …………… 3,864,286円（前年度から約0.9%減）

さをり・下請け・煎餅等 …………… 3,266,107円（前年度から約4.3%増）

<利用者工賃（賃金）>

配分額合計 15,572,707円（前年度から約2.8%増）

就労継続支援B型

平均時給額 …… 316円（前年度+6円） 県標準算出法による

平均月額 …… 27,945円（前年度+866円） //

生活介護

平均時給額 …… 115円（前年度+9円） 県標準算出法による

平均月額 …… 11,622円（前年度+1,653円） //

年間最高額946,663円（前年度+77,730円）平均年額278,084円：通年在籍者以外を含む

パン事業

- ・出張所において自家製生地によるパン製造・店頭販売、本体において地域の訪問販売（有田市・湯浅町・広川町地区）を主として行った。
- ・早月農園への卸売、「ありだっこ」「藤並駅販売所」「ほたるの湯（先方の事業見直しにより本年度で終了）」など地域の店舗へ納品・委託販売、ほか注文販売などを行った。
- ・本年度は店頭・卸売、訪問販売とも減少し、事業収入は前年度比でマイナスとなった。
- ・5月に「8周年フェア」を、10月に地域交流を兼ね「秋まつり」を開催した。

さをり・下請け・煎餅事業

- ・前年度からの新下請け（米袋の整え作業）等により事業収入は過去最高となった。
- ・多彩な品揃えのさをり織りや地域の特産品を使った煎餅は引き続き好評であった。
- ・下請けは、業者からの家庭用品、米袋等、農家から出荷ダンボール組み立て等、リサイクル作

業としてアルミ缶ほか廃品類の回収・出荷作業を行った。

④その他

生活介護・就労継続支援B型それぞれにおいて、1日あたり利用者数は僅かに変動したが、前年度に引き続き定員を上回る結果となった。(制度に定める上限範囲内) 両事業については拡張計画準備中である。

2、拠点区分「早月」

「早月農園」(就労継続支援B型)

①事業・定員

・就労継続支援B型(定員20)を行った。

②支援内容

- ・生産活動による適性に応じた労働訓練：農業に関する作業、パン訪問販売など。両者には明確な活動班の区分を設けず、利用者の体調など時々状況を見て対応した。
- ・一般就労に向けた支援：施設外の実習や一般就労につながった事例は無かった。
- ・全利用者が給食サービスを利用した。
- ・外部医療機関による健康診断を1回を行ったほか、体調把握のため毎月血圧・身体測定を行った。また希望者のみインフルエンザ予防接種を実施した。
- ・有田歯科医師会の御好意による虫歯予防学習会を行った。
- ・避難訓練について、自主訓練を2回行った。
- ・法人内事業所全体で「つくし運動会」、保護者会と共同で白浜へのバス旅行を行った。自主行事として毎月の「喫茶はやつき」、夏季にバーベキュー大会やレクリエーション(プール・博物館見学)、年末に忘年会を行った。また地域団体等主催の行事に参加した。
- ・年間延べ利用者数は4,082人(前年度+527人 1日あたり15.8人 利用率79.0%)
- ・送迎サービスの延べ利用回数は7,892回(片道1回の計算)となり、ほぼ全ての利用者が送迎を利用した。

③生産活動

<事業収入>

収入額合計 11,700,000円(前年度から約5.5%増)

農業……………9,116,846円(前年度から約6.5%増)

パン訪販……………2,583,154円(前年度から約2.0%増)

<利用者工賃(賃金)>

配分額合計 5,501,039円(前年度から約27.0%増)

平均時給額…318円(前年度+12円) 県標準算出法による

平均月額……………23,917円(前年度+1,241円) //

年間最高額630,008円(前年度+69,763円) 平均年額261,954円：通年在籍者以外を含む

- ・工賃実績は、時給ベースでは先発のつくし共同作業所を僅かに上回る水準となった。

農業事業

- ・借受果樹園の収入等により事業収入は過去最高となった。
- ・果樹園による果樹栽培、露地・ビニルハウスによる野菜類栽培を行い、出荷、販売した。

- ・栽培品種は、みかん・はっさく等の果樹類、白菜、レタス、ふき、アスパラガス、ブロッコリー、菜花、玉ねぎ、じゃがいも、里芋、ヤーコン、かぼちゃ、きゅうり、ししとう、なすび、ミニトマト、ピーマン、パプリカ、とうもろこし、ゴーヤ、椎茸、オクラ、まめ、小豆、ニラ、山椒など。収穫物を利用した自主製品づくりに本格的に取り組むため、機器類等の準備を進めた。
- ・例年どおり夏場の暑さ対策には入念に配慮を行った。

パン訪問販売事業

- ・事業収入は引き続き過去最高となった。
- ・地元の有田川町地区において、カフェ&ベーカリー・オリーブのパンの地域訪問販売をおこなった。
- ・販売エリアが広域かつ山間部に及ぶため、パンの仕入れと販売体制を工夫して対応した。
- ・車両の老朽化に伴い、新たに専用車両を購入した。

④その他

- ・開設以来5年を経過し契約者数は定員数を上回る規模に達した。但し実利用人員ではまだ定員枠までに余裕がある。
- ・従来から農業専任の就労支援事業指導員を配置しているが、借受農地の拡大が続いており平成29年度から新たに21,159㎡の借受が決まったことから、就労支援事業指導員を増員及び一部を業務委託とする予定である。

3、拠点区分「あっぷる」

「あっぷるホーム」（共同生活援助）

（併設：短期入所）

①事業・定員

- ・共同生活援助（定員12：男性6女性6の2住居）及び併設事業として短期入所（定員4：男性2女性2）を行った。

②支援内容

- ・夜間の支援について、引き続きキーパー（世話人・生活支援員）が各住居で夜勤として勤務する体制で実施した。
- ・本年度から看護師を配置し、定期的に血圧等の体調チェックを行った。また希望者のみインフルエンザ予防接種を実施した。
- ・避難訓練について、住居間共同の自主訓練を1回（2回目は年度をまたぎ4月実施予定）
- ・食事会やクリスマス会など、節目で行事を催した。また法人全体で「つくし運動会」を行った。
- ・支援の課題や情報を共有するため、原則として住居毎に月1回の連絡会（各キーパー及びサービス管理責任者・管理者など）を開催した。

利用者について、当法人の日中活動サービス利用者だけでなく一般就労者や他法人の利用者など多岐にわたり、外出時間や休日等が異なるため、必要箇所と連絡を取り合い伝達事項等に疎漏がないように注意した。

- ・共同生活援助の利用者について、1年を通じて契約者数は12人（定員空きなし）であった。
- ・年間延べ利用者数は3,791人（1日あたり10.4人：帰省などのため実利用人員は契約者数

以下となる)であった。

- ・短期入所の年間延べ利用者数は296人で、昨年度より微増であった。日中活動系サービスとの併用だけでなく、特に週末の昼間時サービスの需要が多く、支援体制を整えて対応した。

③その他

- ・利用者の体調の変動や短期入所の利用増加などにより、医療機関の受診や生活用品購入、平日日中など幅広い支援が必要になっており、状況により柔軟に対応できるよう職員体制を工夫して整えた。

4、拠点区分「センター」

「有田地域生活支援センターつくし」(一般・特定・障害児相談支援)

(在宅リハビリテーション推進強化事業)

(市町村相談支援事業)

「有田圏域基幹相談支援センターあねっと」(基幹相談支援センター機能強化事業)

①事業

- ・一般・特定・障害児相談支援、受託事業として在宅リハビリテーション推進強化事業及び市町村相談支援事業、本年度から新たに基幹相談支援センター機能強化事業を行った。担当職員で役割分担しつつ相互補完により運営合理化に努めた。

<一般・特定・障害児相談支援>

県指定の一般相談支援事業(地域移行・地域定着支援)、市町村指定の特定相談支援事業(計画作成)・障害児相談支援事業(計画作成・相談)を行った。

- ・一般相談支援：支援実績 0件 本年度の支援実績は無かった。
- ・特定相談支援：計画作成実績 227件・モニタリング実績440件
- ・障害児相談支援：計画作成実績 12件・モニタリング実績21件

<在宅リハビリテーション推進強化事業>

和歌山県から受託を継続した。契約した各分野の専門職とともに地域の家庭や事業所などへ訪問して下記の活動を行い、障害・躓きの早期発見、早期療育の観点に立ち、事業の質を高めるように務めた。

- ・在宅支援訪問リハビリ等指導事業(本年度実績514件：前年度+99件)

地域の家庭や施設・事業所などを訪問して、生活状況の把握、看護師による体調チェック・体調観察、保育士による療育支援、盲学校・ろう学校教員による視力聴力相談・学習支援、理学療法士による機能訓練・発達観察、音楽療法士による音楽療法などの支援活動や各種相談

- ・施設支援一般指導事業(本年度実績132件：前年度+15件)

地域の学校、保育所、障害福祉事業所等へ訪問して、盲・ろう学校教員、保育士、理学療法士、音楽療法士による職員への各種助言・技術指導など

<市町村相談支援事業>

有田地方各自治体(有田市・湯浅町・広川町・有田川町)から、和歌山県福祉事業団「サポートセンターゆい」(以下「ゆい」と共同で受託を継続した。事業運営にあたっては双方で連携し、役割を分担・協働して、身体・知的・精神障害及び発達障害の方などを対象に相談支援活動を行った。

- ・市町村相談支援(支援実績 273人・延べ3,726件：有田市94人・延べ1,442件、湯浅

町 92 人・同 1,372 件、広川町 50 人・同 605 件、有田川町 37 人・同 307 件)

主な支援内容

- ・日中活動や居宅支援などの福祉サービス利用について
- ・福祉機器の利用、医療・健康管理、金銭管理、余暇・外出支援、通院引率などについて
- ・障害基礎年金、障害者手帳の申請の支援について
- ・求職活動、職場定着の支援などについて
- ・その他の相談

<基幹相談支援センター機能強化事業>

有田地方各自治体（有田市・湯浅町・広川町・有田川町）から、従来の市町村相談支援事業に加え新たに基幹相談支援センター機能強化事業を受託、和歌山県福祉事業団と共同で「有田圏域基幹相談支援センターあねっと」（以下「あねっと」）を開設した。

「あねっと」の運営事務は和歌山県福祉事業団が主体となり「ゆい」に隣接して拠点を設置し、当法人担当分として職員 1 名が活動した。

同事業では、相談支援の困難ケースへの対応、相談支援事業者への専門的な指導・助言・人材育成の支援（研修など）、各相談機関との連携強化、圏域自立支援協議会の運営、各種制度の普及啓発などが想定されており、事業計画に沿って、毎月の定例会議によって事例共有等を行いながら順次実施した。

その他「あねっと」ではひきこもり支援や自立支援協議会へ権利擁護部会の立ち上げ準備を進めた。

平成28年度 事業所行事等実施状況

つくし共同作業所 (つ)、つくし共同作業所出張所オリーブ (オ)、早月農園 (早)、あっぷるホーム (あ)

前半			後半		
4 月	4.1	入所式 (つ・早)	10 月	10.1	喫茶はやつき (早)
	4.5、8	お茶会 (早)		10.15	オリーブ秋祭り (つ・オ・早)
	4.16	喫茶はやつき (早)		10.27	避難訓練 (つ)
	4.25	バス旅行：白浜 (つ・オ・早/保護者会合同)		10.31	避難訓練 (オ)
5 月	5.15	チャレンジハイキング参加 (つ・オ・早)	11 月	11.6	つくしバザー (つ・オ・早)
	5.21	喫茶はやつき (早)		11.17、24	インフルエンザ予防接種 (つ・オ・早)
	5.28	オリーブ8周年フェア (オ)		11.17	避難訓練 (あ)
				11.26	わされん「みんなの文化祭」 参加 (つ・オ・早)
6 月	6.4	スポーツ交流会参加 (つ・オ・早)	12 月	11.28	健康診断 (つ・オ・早)
	6.9	はみがき講習会 (つ・早)			
	6.18	喫茶はやつき (早)		12.17	喫茶はやつき (早)
	6.18	後援会交流会 (つ)		12.19	忘年会 (つ・オ・早)
7 月			1 月	12.28	仕事おさめ (つ・オ・早)
	7.16	喫茶はやつき (早)		12.29～	年末年始休業
	7.24	ふれあい夏まつり参加 (つ・オ・早)		～1.3	年末年始休業
	7.29	バーベキューのつどい (早)		1.4	仕事はじめ (つ・オ・早)
8 月			2 月	1.21	喫茶はやつき (早)
	8.5	夏季レクリエーション ：プール・博物館 (早)		1.30	避難訓練 (早)
	8.13～ 15	夏季休業 (つ・オ・早)			
9 月			3 月	2.18	喫茶はやつき (早)
	9.8	避難訓練 (早)		2.21	避難訓練 (つ)
	9.17	喫茶はやつき (早)			
	9.25	つくし運動会 (つ・オ・早・あ)		3.3、11	(株) アイエフシーシステムさん から食事招待 (つ・オ)
				3.18	喫茶はやつき (早)

